

野口英世博士生家

マップ内ナンバー 1

野口博士すべての原点



世界的医学者となった野口英世博士は、猪苗代町(当時三ツ和村)三城淵に生まれ、その生家が当時そのまま残されています。

生家には、1才半のとき左手に火傷をした囲炉裏や、上京(医術試験のため)するときに床柱に刻んだ決意文などがあります。

また、野口博士の少年時代、隣の旅館で仕事をしながら勉強した時、背もたれした柱が特別に展示されています。館内には、野口博士の遺品や研究業績、母シカ直筆の手紙などが展示されています。

長 照 寺

マップ内ナンバー 4

野口家の菩提寺



野口英世記念館の近くに野口家の菩提寺でもある、曹洞宗大宮山・長照寺があります。創立は1603年(慶長8)で、野口博士の恩師・小林栄先生も、この寺の檀家となっています。

境内には、野口夫妻の墓(遺髪塚)や両親の墓(父佐代助、母シカ)があります。

また母シカが寄進した観音図(原図は狩野芳崖が描いているもの)は、会津の絵師・佐野石峰に依頼して模写した掛け軸です。

もっと博士を知りたいあなたに 博士ゆかりの地4つのエピソード

ここでは、中面に掲載されていた「博士ゆかりの地」の中から、4つの場所をクローズアップ！
知ってお得な英世とゆかりの地にまつわるエピソードをご紹介します。

土 津 神 社

マップ内ナンバー 14

野口博士が参拝していた神社



神社右の石畳に登ると、保科正之の墓前があります



会津藩祖・保科正之と歴代の藩主を祀った神社です。正之の遺言により1672年(寛文12)創建されました。

創建時の社は、「戊辰の役」の戦火に遇い焼失しましたが、野口博士の恩師・小林栄先生や地域の方々によって、1880年(明治13)再興されました。野口博士も参拝していた神社で、1915年(大正4)に帰朝したとき、小林栄先生などと参拝して持参したカメラで撮影した写真が、現在も残されています。

小 平 瀧 天 満 宮

マップ内ナンバー 15

家族で訪れた思い出の場所



猪苗代湖の北岸・天神浜の松林の中に、学問の神様・菅原道真を祀る小平瀧天満宮があります。また、神社ゆかりの連歌碑・猪苗代兼載の歌碑もあります。「さみだれに松遠さがるすすき哉」

父の佐代助は、神社のある小平瀧が実家だったので、野口博士が子どもの頃に、祭礼などでよく参拝していました。村の人たちは、野口博士のことを「天神様の生まれ変わりだ」と噂していました。

若き日の野口英世、その青春と情熱に出会える町 猪苗代

(社)猪苗代観光協会

〒969-3133福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字扇田1番地4

TEL. 0242(62)2048 FAX. 0242(62)2939

【URL】<http://www.bandaisan.or.jp/> 【E-mail】info@bandaisan.or.jp